

2019年度 事業報告

1. 腎臓病の予防及び治療に関する知識の普及啓発事業

(1) 第6回NPO法人鹿腎協通常総会を開催した。

開催日 2019年5月19日(日)

開催場所 かごしま市民文化ホール 4階市民ホール

出席席 115名(委任状892名)来賓5名

(2)一般社団法人全国腎臓病協議会が主催する全国大会に参加した。

開催日 2019年7月6日(土)~7日(日)

開催場所 レンブラントホテル大分(大分市)

全腎協全国大会in大分が開催され、全国の患者会から約800名の参加があり、本会からは、バスツアーを組んで会員・家族合わせて21名が参加した。

『再生医療で腎臓病患者ゼロになる日を目指して』という興味深いテーマの講演もありました。

(3) CKD対策事業 一般市民や保存期の方を対象に、慢性腎臓病について周知を図った。

CKD特別対策事業が次年度も継続して実施されるよう、県に要望書を提出した。市町村には、各市町村腎友会を通じて要望書を提出した。啓発活動については、下記の通り。

①鹿児島市主催による慢性腎臓病(CKD)予防セミナー

当会会員が糖尿病性腎症から透析に至った体験談を発表。

開催日 2020年2月13日(木)

開催場所 鹿児島県民交流センター県民ホール

②鹿児島市 CKD 予防ネットワークプロジェクト会議主催の世界腎臓デー in かごしま。(新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止)

開催予定日 2020年3月8日(日)

(4)国・県・市町への要望活動

①第49次国会請願署名・募金活動

期間 2019年10月~2019年12月

署名数 13,641筆

募金 489,400円

請願行動 新型コロナウイルス感染予防の為に延期。

②重度心身障害者医療費助成制度、CKD対策、災害対策などに関する要望活動

8月6日、県のくらし保健福祉部障害福祉課・健康増進課・保健医療福祉課・高齢者生き生き推進課に要望書を提出。

19市10町の各腎友会でも重身制度、CKD対策、災害対策を中心に各市町村長宛に提出。

鹿児島市・日置市・指宿市・南九州市・枕崎市・南さつま市・
いちき串木野市・薩摩川内市・阿久根市・出水市・伊佐市・姶良市・
霧島市・垂水市・鹿屋市・志布志市・曾於市・西之表市・奄美市・
さつま町・長島町・湧水町・肝付町・大崎町・中種子町・南種子町・
喜界町・龍郷町・和泊町

※上記()内が提出した市町

2. 腎臓病患者の自立を支援する事業

(1) ブロック交流会(各ブロック毎に開催される交流会)

・鹿児島ブロック 2019年9月22日(日)体操教室 台風接近のため中止

・南薩ブロック 2019年6月2日(日)ゴム風船を使ったバレー堀大会
参加人数 28名

・北薩ブロック 2019年9月22日(日)グラウンドゴルフ大会 台風接近のため中止

・姶良ブロック 2019年9月15日(日)ブドウ狩り 参加者 11名

・伊佐ブロック 2019年11月10日(日)ボーリング大会 参加者 20名

・大隅ブロック 2019年11月24日(日)グラウンドゴルフ大会 参加者 55名

※ 何れも盛況であった。

(2) 医療に関する講演会(地区ブロック)

・鹿児島ブロック 2020年2月16日(日)ハートピアかごしま

鹿児島市腎友会との合同料理教室:「リンコントロール透析していくてもお肉がたべたい」
参加者 16名

(3) 移植部活動 腎移植について広く啓発活動

・2019年11月10日(日)移植部会

ハートピアかごしま 研修室 参加者 4名

・2020年2月16日(日)移植部会

ハートピアかごしま 研修室 参加者 4名

(4) 青年部活動 若年層の透析について広く啓発活動

・2019年6月30日(日)鹿腎協青年部年次会

ハートピアかごしま 研修室 参加者 8名

・2019年8月24日～25日 全腎協青年研修会に参加
東京・大井町アワーズイン阪急

参加者 1名

3. 腎臓病移植医療の普及啓発活動に関する事業

- (1)臓器移植に関するリーフレット配布 県内各地で実施し、普及啓発を図る。
10月～2月にかけて1県19市11町で合計3,500枚配布した。

4. 腎臓病患者の医療と福祉に関する情報収集及び提供事業

- (1)透析患者や家族、関係団体などに情報を発信する。
会報誌「かじんきょう」No.132～135号発行
「会員コーナー」では、就労者インタビューを継続実施した。
- (2)新規入会者には、「透析をはじめる人のためのガイドブック」と「透析患者のための防災ハンドブック」を配布した。

5. 他団体との交流、連携活動に関する事業

- (1)青年委員会九州ブロック会議への参加
青年委員会九州ブロック会議 in 福岡 2019年1月26日(日) 1名参加
- (2)九州ブロック内各県組織との連携
①全腎協九州ブロック前期会議 in 鹿児島 2019年8月31日(土)～1日(日)
本県より10名参加
【1日目】・講師:鹿児島県透析会前会長 上山達典先生
演題:「透析療法の現況」
・講師:全腎協業務執行理事 松橋文昭 様
演題「社会保障と患者会のかかわり」
【2日目】・九州ブロック担当理事の総評、次回開催県会長の挨拶で閉会。
②全腎協九州ブロック後期会議 in 大分 2020年2月15日(土)～16日(日)2名参加
【1日目】・講師:NPO法人自立支援センターおおいた 代表 五反田法行氏
演題:「災害時要支援者の支援について」
・講師:大分県臨床臨床工学技士会 副理事長 田邊裕司氏
演題:「透析医療における災害対策～臨床工学技士会の取り組み～」
【2日目】各県活動報告及び討議後、九州ブロック担当理事の総評、次回開催県会長の挨拶で閉会。
- (3)かごしま難病支援ネットワークとの連携
当会を含め加盟団体が機関紙などの冊子をネットワークに提供し、共に閲覧することにより情報の共有を図った。

(4)鹿児島県透析医会との懇談会 11月26日(火)

懇談会には、透析医会会长萩原隆二先生ほか5名の先生方が、鹿腎協からは、当会の出森会長ほか3名が出席した。

6. 腎臓病患者向け栄養補助食品、健康器具、書籍などの普及促進事業

新規入会会員への特典として「透析をはじめる人のためのガイドブック」を配布した。

7. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(1)鹿児島県透析医会との連携

7月25日開催の鹿児島県透析医会学術講演会に参加して見識を深めると共に透析医会の先生方との親睦を深めた。

(2)組織強化に関する事業

本年も6月から7月にかけて入会キャンペーンを実施し、入会キットを配布し、40名の新規入会があった。

しかしながら、会員の高齢化に伴い会員の死亡などが多く、会員の純増となっていないのが現状である。現在の会員数は、1500名前後で推移している。